

紫波町議会定例会一般質問通告書（写）

平成 22 年 6 月定例会（第 477 回）

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[1] 10 番 藤原恵子</p>	<p>口蹄疫対策について 口蹄疫問題は、現在全国の畜産農家や関係機関が、毎日の報道に大きな不安を感じている。宮崎県では 20 日時点で殺処分対象の牛や豚などは約 32 万 3 千頭をこえる。九州や全国への感染拡大の懸念から、一般住民の外出自粛要請も 18 日宣言された。口蹄疫の感染予防対策として、町内の関係する農家や機関への認識、緊急時の対応、周知等はされているのか。現時点での最大限の知識と対処が必要と思うが何う。</p>	町長
	<p>健康増進施設ラ・フランス温泉館について 温泉利用型健康増進施設として全国 23 施設ある中で、ラ・フランス温泉館は平成 14 年 6 月に厚生労働大臣より認定を受けている。認定の有効期間及び更新は、認定された日より起算して 10 年を経過した 3 月 31 日となっている。更新には認定基準の適合が調査されると思うが、更新基準は適合されているのか何う。 また、町民への健康増進にともなう医師、健康運動指導士との連携のもとに、一般町民にも見える具体的な活動が必要と思うが何う。</p>	町長
	<p>子宮頸がん対策について 女性特有のがん無料検診への当町の取り組みに大変感謝している。しかし、子宮頸がんは死亡原因の第 3 位であり、特に 20 代から 30 代の女性においては発症が第 1 位となっている。昨年日本でようやくワクチンが承認されたが、ワクチン接種の必要な 3 回の費用は 5 万円程度となることから、当町の助成への前向きな取り組みが必要と思うが計画を何う。</p>	町長
<p>[2] 16 番 田村勝則</p>	<p>町営霊園の整備について 町民満足度調査によれば、町営の霊園を望む声が多い。宗教の多様化、或いは新住民も増える中で、古来の伝統を継承する重要性と共に、時代に即応した行政サービスも求められている。霊園整備について積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p>	町長
	<p>観光振興策について 1 観光振興計画策定に向けての進捗状況を何う。 2 平泉関連遺跡を中心とした観光振興に取り組む場合、公民連携、特にも関連諸団体との密接な連携や協議が重要であると思うが、これまでの経緯と今後の方向性について何う。</p>	町長
	<p>地域づくり活動補助制度の現状について 協働のまちづくりに大きな役割を果たす地域づくり活動補助金制度は、今年で 2 年目を迎えているが、昨年度の実施を踏まえた成果、今年度の補助申請を含めた効果について何う。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
<p>[3] 7番 細川恵一</p>	<p>子ども手当と子育て支援について</p> <p>1 今年度から子ども手当での支給が始まる。その財源として、所得税、住民税の年少扶養控除が廃止され、所得税は2011年1月から、住民税は2012年6月から増税となる。町として町民への影響を早急に検証すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 控除の廃止によって保育料など福祉諸制度の利用や負担額に影響する。町として町民に影響が最小限にとどめられる、必要な手だてを検討されているか。</p> <p>3 子ども手当での支給だけでなく、子育て世代の雇用の確保や医療費、教育費の負担を減らすなど、総合的な子育て支援対策が求められていると考える。町としての見解をあらためて伺う。</p>	町長
	<p>地元産材の利用促進と公共施設建設について</p> <p>国や地方自治体などの公共の建築物を中心に、国産木材の利用促進をめざす公共建築物木材利用促進法が成立した。この下で町は森林資源循環の一環として、公共の建物は木造で町産材を利用し、小学校や保育所などを建築してきた。今後、さらに町産材の利用促進をするための町の方策をあらためて伺う。</p>	町長
	<p>古館コミュニティーセンター整備事業について</p> <p>1 古館コミュニティーセンターの建設が2010年度中に行われる。この間、いろいろと議論がされ、ハウスメーカーの鉄筋コンクリートの建築から、木造の建築に変更となった。この建築は、岩手県森林整備加速化・林業再生基金で行われる。あらためて建築にかかる事業の内容を確認する。</p> <p>2 新たにコミュニティーセンターが完成すれば、公民館の管理運営の人的体制と来年度以降の公民館部分についての改築設計や建設について、地域でも検討はされるものと考えているが、町としての対応を伺う。</p>	教育委員長
<p>[4] 20番 村上 充</p>	<p>農政問題について</p> <p>1 米の所得補償の金額で計画根拠になっている標準的な生産費を一俵60kgあたり1万2,000円としているが、補償がまったく不十分であり、この制度では、今後の米作りに不安があるとなっているが、町長はどう受け止めているか。また、米所得補償制度加入申請が進められているが、わが町の実態はどうなっているか。</p> <p>2 町長は3月議会の所信表明で農業基盤の確立と食育推進で活力ある地域づくりを示した。その中で、新規就農支援事業や仮称として、農林業振興公社的な組織を22年度準備期間として計画を進めるとなっているが、具体的にどこまで協議されているか。また、地元紫波総合高校の農業科と加工、研修等について連携をもっと計画すべきであるがどうか。</p>	町長

質問議員	質問の内容	答弁を 求める者
	<p>畜産対策について</p> <p>宮崎県内での牛、豚への口蹄疫問題は、わが町畜産農家にも大きな不安がある。5月号しわネットで注意と対応について知らせているが、具体的に町としての対応策はどう考えているか。</p>	町長
	<p>医療、福祉問題について</p> <p>1 国民健康保険における医療費の減免、免除への対策は現実にあったものになっているか。また、国保事業での保険税における国の制裁はどうなっているか。</p> <p>2 県立紫波診療センターについて、県医療局は町に対して協議を示しているか。また、町の対策はどう進めようとしているか。</p>	町長